

川内沢ダム通信 第16号

愛島公民館との連携による「春のダム見学会」で川内沢ダム建設現場を見学していただきました

名取市愛島公民館との連携による「春のダム見学会（3月7日開催）」で川内沢ダムを10名の方々に見学していただきました。今回は、3月13日に開通となった付替市道とダム建設予定地を見学していただき、参加した方々からは「インフォメーションセンターはいつ頃から見学できるのか」「付替市道はいつから通行可能となるのか」「何軒のお家に移転したのか」「また見学したい」などの質問や感想をいただきました。

起工式も無事終わり、これからダム本体工事がどんどん進んでいきますね！



春のダム見学会の状況



川内沢ダム
イメージキャラクター
「川内あい」

川内沢ダム本体工事の起工式を開催しました

川内沢ダム本体工事の起工式を3月19日に宮城県と川内沢ダム本体工事施工者（西松・奥田・グリーン企画JV）の共同で開催しました。

起工式には、主催者を代表して遠藤副知事、来賓として西村衆議院議員（環境大臣）、名取市山田市長、宮城県議会菊地議長、名取市議会菊地議長、施工者を代表して西松建設株式会社一色代表取締役執行役員副社長など、58名の方々にご出席していただきました。

川内沢ダムは、川内沢川の洪水調節及び流水の正常な機能の維持を目的とした治水ダムで、沿川地域の洪水被害の軽減を図るとともに、渇水に対して安定的なかんがい用水を確保するなど、河川環境を保全します。

この起工式は川内沢ダム本体工事にとって重要な一歩となり、今後は本格的に施工が開始されます。令和7年度末の完成を目指し、発注者及び施工者が一丸となって川内沢ダム建設事業の推進に取り組んでまいります。



川内沢ダム本体工事起工式①



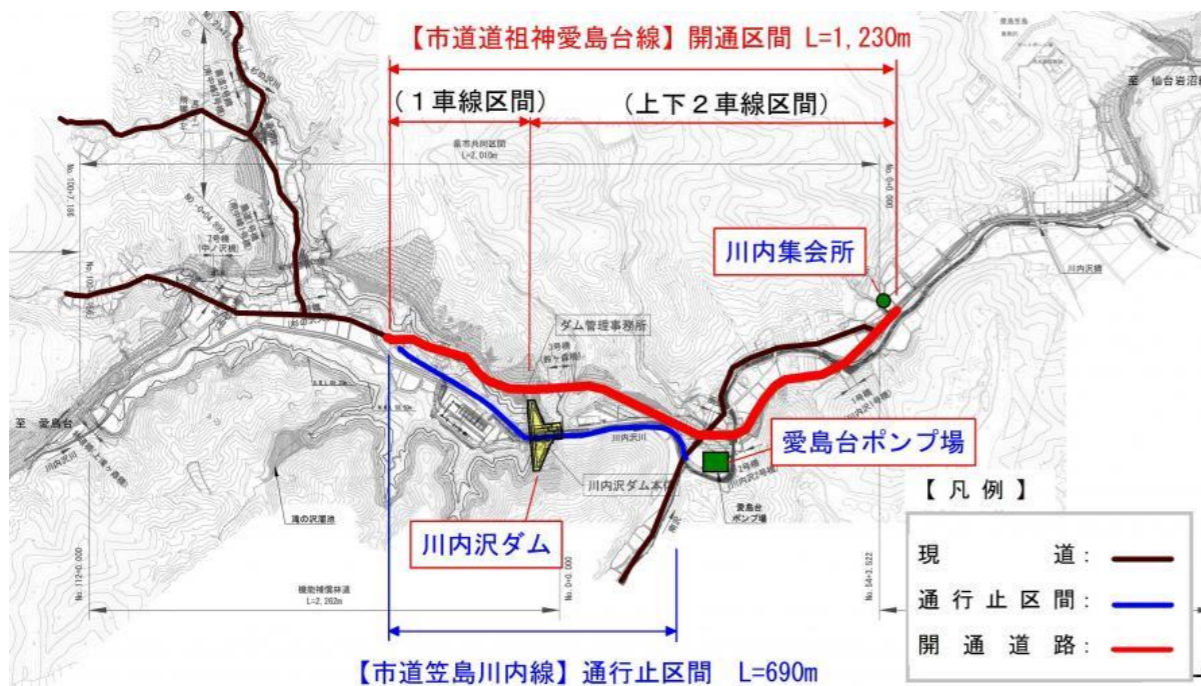
川内沢ダム本体工事起工式②

川内沢ダム工事に伴い付替市道の一部を切り替えました

川内沢ダム建設に伴う付替道路工事については、令和元年度から着手しており、この度、ダム本体工事が本格的に始まることに伴い、現市道（笠島川内線）の一部を新しい道路（市道道祖神愛島台線）に切り替えました。

ダム本体工事につきましては、令和7年度末の完成を目指して進めており、今後も、早期完成に向け鋭意事業を進めて参りますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。替市道の各工事については、地域の皆様のご協力により着々と完成に向けて進んでおります。現在、11工区7業者が工事を行っており、令和5年1月には道路改良工事の一部が完成しました。

今後も早期完成に向け推進してまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



道路切替後の状況①



道路切替後の状況②

●内容についてお気付きの点やご質問等は下記までご連絡ください。
宮城県仙台地方ダム総合事務所 建設班
TEL 022-372-2927 FAX 022-375-7535
E-mail sddamke@pref.miyagi.lg.jp